

主催:長崎大学

共催:



日本医学ジャーナリスト協会西日本支部

オンラインで結ぶ **日英** 公開シンポジウム

「新型コロナとグローバルヘルス」

～新興感染症のパンデミックにどう立ち向かったか。課題と教訓～

日時 2021年 **3月7日(日)** 17:00～20:00
(開場:16:30)

会場 **アクロス福岡・国際会議場** 福岡市中央区天神1-1-1
(会場定員100名、オンライン300名) =先着順

長崎大学卓越大学院プログラム **COVID-19 and Global Health**

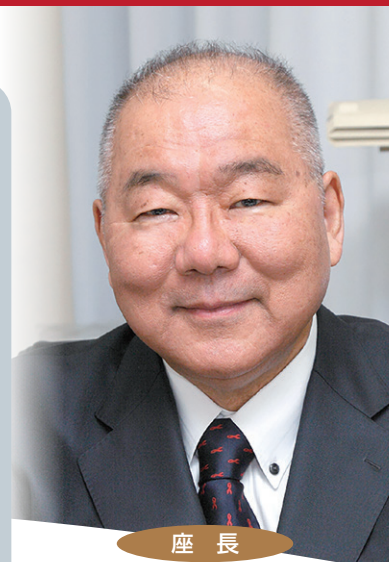


座長

ロンドン大学衛生・
熱帯医学大学院学長
ピーター・ピオット



オンライン配信
英語使用(同時通訳付き)



座長

元日本感染症学会理事長・会長
東大名誉教授
岩本 愛吉

世界を覆う未曾有のパンデミックとなった新型コロナは、今なお我々の社会、生活に大きな影響を及ぼし、ワクチンや変異種の登場とともに新たなステージへ向かおうとしています。日英の感染症疫学の専門家が、それぞれの視点からこれまでの課題と教訓、そしてメディアを含めた公衆衛生の役割について基調講演。

パネルディスカッションでは、東京や九州、東南アジアなどの事例を報告し、それぞれの地域が抱える課題と展望を論じます。

基調講演

講演



京都大学
教授

西浦 博



ロンドン大学衛生・
熱帯医学大学院教授

ジョン・エドモンズ



国立国際医療研究センター
国際感染症センター長

大曲 貴夫



長崎大学
教授

クリス・スミス



長崎大学
教授

有吉 紅也



【主催者挨拶】
長崎大学学長
河野 茂



【閉会挨拶】
長崎大学大学院
熱帯医学・
グローバルヘルス
研究科長
北 潔

分科会

日時 **3月8日(月)・9日(火)** 17:00～20:00 オンライン(ウェビナー)開催

分科会では、日英の臨床現場におけるCOVID-19対応と流行株ゲノム解析等についても議論します。また、日英が協働した**グローバルヘルス人材育成プログラム(Joint PhD)**に興味があるひと向けにグローバルヘルスをテーマにした多彩なプログラムも準備しています。

お申込み ▶ <https://iscgh.jp/>

お問合せ ▶ 長崎大学卓越大学院プログラム運営事務局
contact@iscgh.jp



参加無料

会場参加、オンライン視聴
共に無料

新型コロナウイルス感染拡大の際は、
オンライン配信のみで開催します。

■後援/駐日英国大使館
一般社団法人日本熱帯医学会

■協賛/シオノギ製薬
シスメックス株式会社

3月7日(日) 会場／アクロス福岡4F・国際会議場

第1部

挨拶 17:00～17:20

開会 長崎大学教授 有吉紅也

司会 RKB毎日放送アナウンサー 辻満里奈

主催者 長崎大学学長 河野茂

来賓 駐日英国大使館 臨時代理大使 スー・木下

文部科学省高等教育局大学振興課大学改革推進室長 西明夫

座長スピーチ
17:20～17:30

ロンドン大学衛生・熱帯医学大学院学長 ピーター・ピオット
東京大学名誉教授、元日本感染症学会理事長・会長 岩本 愛吉

基調講演
17:30～18:35

コロナとグローバルヘルス(疫学・公衆衛生)

国立国際医療研究センター国際感染症センター長 大曲 貴夫

ロンドン大学衛生・熱帯医学大学院教授 ジョン・エドモンズ(感染症数理モデル)

京都大学教授 西浦 博(理論疫学)

感染症数理モデルを駆使し、日英の政策決定者へコロナ流行の状況把握と対策に関する科学的なアドバイスをやってきた理論疫学者と日本を代表する感染症臨床医が、それぞれの立場から1年間のコロナを振り返ります。また、ショートプレゼンテーションでは、欧州やアジアの状況についても紹介があります。

ショートプレゼンテーション
18:35～18:55

欧州委員長特別顧問 ピーター・ピオット

長崎大学教授 クリス・スミス(臨床熱帯医学)

第2部

19:05～19:55

パネルディスカッションと質疑応答 座長・演者全員

閉会挨拶 19:55～20:00

長崎大学大学院熱帯医学・グローバルヘルス研究科長 北 潔

分科会

オンラインのみで開催
英語使用(同時通訳付き)

3月8日(月) 17:00～18:15

コロナ禍の臨床現場と臨床研究



オックスフォード大学
教授

ピーター・ホービー



国立国際医療研究センター
臨床研究センター長

杉浦 互



ロンドン大学UCL病院
教授

ロビン・ベイリー

世界に先駆けてステロイド治療の公開を証明した英国の専門家がその背景について、また、日本より死者数が何十倍にも膨れ上がった英国の臨床現場に立ち続けた臨床教授が臨床研究に参加することの意義を語ります。一方で、日本の臨床研究を代表する専門家が我が国の臨床治験の現状と課題について語ります。

3月9日(火) 17:00～18:15

コロナ禍のラボサイエンス(ウイルス学、免疫学等)



グラスゴー大学・
ロンドン大学教授

エマ・トムソン



国立感染症研究所
感染病理部長

鈴木 忠樹



東京大学
医科学研究所教授

河岡 義裕

世界に先駆けて変異株の異変に気が付き警告を発した英国コロナゲノム解析コンソーシアムの中心メンバーが公衆衛生対策に結びつくラボ研究の背景を語ります。また、国立感染症研究所の専門家が、世界をリードするウイルス学者とともに、日本発新型コロナウイルス感染症研究の最先端について語ります。

福岡の対面会場とロンドン、
東京をオンラインで結んで開催。
全国各地でオンライン視聴。

【感染症対策への注意事項】 ●参加者は氏名・住所・電話番号を記入いただきます。●消毒液による手指消毒をお願いいたします。●マスクを着用すること、また大声で話さないこと。●人と人との十分な間隔(2メートルほど)を確保してください。●発熱・体調不良がある方は入場をお断りします。

【後援】



一般社団法人
日本熱帯医学会
Japanese Society of Tropical Medicine

【協賛】



お申込み ▶ <https://iscgh.jp/>
お問合せ ▶ 長崎大学卓越大学院プログラム運営事務局
contact@iscgh.jp



参加無料 会場参加、オンライン視聴
共に無料

新型コロナウイルス感染拡大の際は、オンライン配信のみで開催します。

オンラインで結ぶ **日英** 公開シンポジウム
「**新型コロナウイルスとグローバルヘルス**」

主催:長崎大学 共催:日本医学ジャーナリスト協会西日本支部

サテライト
イベント

長崎大学卓越大学院プログラム



長崎大学—ロンドン大学衛生・熱帯医学大学院
国際連携グローバルヘルス専攻(ジョイントPhD)
NU-LSHTM Joint PhD Degree Programme for Global Health

LONDON
SCHOOL OF
HYGIENE
& TROPICAL
MEDICINE



Meet the prospective supervisors and students



日英の共同指導教員・共同研究者との出会いを求めて

サテライトイベントでは、長崎大学とロンドン大学衛生・熱帯医学大学院 (LSHTM) が協働したグローバルヘルス人材育成卓越大学院プログラム (Joint PhD等) の指導教員や学生によるグローバルヘルスの多彩な課題をテーマにしたプレゼンテーションが聴けます。

同プログラムに興味のある学生や研究者はぜひご参加ください。あなたの将来の指導者や共同研究者に出会えるかも知れません。

オンライン
のみで開催
英語使用(同時通訳なし)

グローバルヘルス人材育成プログラム(Joint PhD)

3月8日(月) 18:30~20:00		3月9日(火) 18:30~20:00	
分科会 海外フィールド研究	分科会 ラボサイエンス	分科会 海外フィールド研究	分科会 環境衛生 環境保健、その他
Dalessandro教授、Sanjay Kinra教授、M Hibberd教授らが、西アフリカ・ガンビア、インド、フィリピンで進行中の日英共同研究を含めた教育研究活動を紹介します。	Moi Ling教授、児玉年央教授、由井教授らが、LSHTMの共同指導教員・共同研究者らとともにウイルス学、微生物学、免疫学、創薬での教育研究活動を紹介します	吉田レイミント教授、金子聰教授らがベトナムやケニアで進行中の教育研究活動を紹介し、また、現役のJoint PhD学生が現在取り組んでいる研究を紹介し、	環境保健の日本のパイオニア橋爪真弘教授、感染症栄養学のSharon Cox教授らがLSHTMの共同指導教員とともに教育研究活動を紹介し、

長崎大学やLSHTMの日英が協働して推進するラボ研究、アフリカ・東南アジアの海外フィールド研究、環境衛生などの現在進行中もしくは将来へ向けた研究が紹介されます。

現在在籍しているJoint PhD学生のプレゼンテーションもあります。

※プログラムは順次更新します。

2019年3月の
ジョイント
シンポジウムの模様

<http://www.wise.nagasaki-u.ac.jp/people>



福岡の対面会場とロンドン、東京をオンラインで結んで開催。全国各地でオンライン視聴。

お申込み ▶ <https://iscgh.jp/>
お問合せ ▶ 長崎大学卓越大学院プログラム運営事務局
contact@iscgh.jp



参加無料